

③キャンパスの基本方針

大学基本理念：三重から世界へ 世界から三重へ 未来を拓く地域共創大学

地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で、社会との共創に向けて切磋琢磨する。

本学は、大学基本理念のもと、地域に貢献する総合力とチーム力を高めて「つながる知、ひらく未来、地域共創大学」への発展に努めます。すべての構成員が SDGs(持続可能な開発目標)の趣旨を理解し、環境先進大学としての取組をさらに強化し、環境・SDGs のプラットフォーム機能を築き上げ、カーボンニュートラル社会の形成などに向けた環境の諸課題を地域とともに探求し、新しいコミュニティづくりの一翼を担う地域共創大学として、持続可能な社会の構築に寄与します。

本学では、低炭素型のエネルギー・マネジメントの実施として、カーボンフリー大学構想、スマートキャンパス大学の取組を実施してきましたが、2050 年のカーボンニュートラル達成には、これまで以上の取組が必要です。

「キャンパスのカーボンニュートラル」では、3つの基本方針を策定してカーボンニュートラルを推進していきます。具体的には「再生可能エネルギーの活用：創エネ」「建物の省エネルギーの徹底：省エネ」そして「森林整備・保全による CO₂ 吸収：吸収」です。

2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、これまでの取組を継続しながら、3つの新たな取組を実行に移して 2050 年の削減目標に向かって推進していきます。

国立大学法人三重大学
環境・SDGs方針

大学基本理念

三重から世界へ、世界から三重へ、未来を拓く地域共創大学
地域に根ざし、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で、社会との共創に向けて切磋琢磨する。

環境・SDGs基本方針

三重大学は、大学基本理念のもと、地域に貢献する総合力とチーム力を高めて「つながる知、ひらく未来、地域共創大学」への発展に努めます。すべての構成員が SDGs(持続可能な開発目標)の趣旨を理解し、環境先進大学としての取り組みをさらに強化し、環境・SDGs のプラットフォーム機能を築き上げ、カーボン・ニュートラル社会の形成などに向けた環境の諸課題を地域と共に探求し、新しいコミュニティづくりの一翼を担う地域共創大学として、持続可能な社会の構築に寄与します。この環境・SDGs 方針を達成するために、SDGs の 17 のゴールの達成に資する環境マネジメントシステムを確立、実施、維持し、向上に努め、環境関連法令等の要求事項を遵守することにより、自らの教育・研究・社会貢献及び業務運営の能力を活かし、さらに発展的な環境・SDGs の取り組みを進める決意を表します。

環境・SDGs取り組み

—教育—
環境と SDGs の知見と行動力を兼ね備え、持続可能な社会の担い手となる学生を輩出するための教育を実施する。

—研究—
環境問題の解決と SDGs の達成に向け、産官学民との分野横断的なリードナーシップと文理融合を成す研究力向上を加速させる。

—社会貢献—
教職員と学生が産官学民と共に取り組む、環境問題の解決と SDGs の達成に向けたリカレント教育等を通じて、活気ある豊かな社会の実現に貢献する。

—業務運営—
すべての教職員と学生が、カーボン・ニュートラルや資源の有効活用および SDGs の取り組みなど、事業に関わる環境保全・SDGs の推進に努める。

三重大学は、この環境・SDGs 方針を学内すべての教職員及び学生を含めた関係者に周知し、一般にも公開します。
制定日 2021年4月1日
改定日 2023年4月1日
国立大学法人三重大学長 伊藤正明

図 4 三重大学環境・SDGs 方針